

商 況

製鐵所販賣旬報 第76號 昭和3年11月21日

9、10月大陸鋼材市況 9月初旬秋の好期節に入ると共に取引も漸増し、譬へ英國の需要不振はありとは云へ、日本及英領印度の可成り多量の注文に接し、又久方振りに南米が市場に現はるゝ等、市場は追々と賑つた。随つて價格も逐次に硬化したるもメーカーが多量の注文を擁したる爲引渡期限を長期にする關係上買手に於て稍躊躇する現象を馴致するに至つた。中旬以後に於ては市場は溢るゝ許りの需要を見て益々活氣を呈しバーベース6-5-0を呼ぶに至り、工形鋼も白國工場への鐵道大口注文の出現により新高値が現はれ、メーカーの大部分は單に12月積にのみ建値するに至つた。又中型山形の日本よりの注文も猶止まず、コンクリート用丸鋼も依然需要旺盛を傳ふると云ふ盛況であつた。然し棒鋼は戦前の1913年9月に於ける4-15-0に對し6-5-0と云ふ高値である爲取引所の一般の傾向としては此の上の硬化よりも現在價格の維持確立を希望する程度となつた。即ち價格としては大體天井を衝いたと觀察して居る様であるが工形のスタンダードセクションは同期の6-0-0に對し僅かに5-2-6を示すを以て猶幾分の上伸を見ることを豫想されて居る。

10月初旬に於ては特別なる原因は見出せざるも新商談も閑散にて氣配も軟弱となり丸鋼の6-5-0も表面は維持しあるも底意弱きを免れず中旬に入るに及んては相當の大口注文に對しては6-3-6乃至6-2-6を稱ふるに至つた模様である。然し注文は不足する程度には至らず、不阻變、日本、南米、及極東方面よりは可なりの引合を見て居た。然し此等引合中南米は下旬に入るも猶増加の傾向を示したるも、日本及英領印度方面は稍沈靜となつたと云はれて居る。

猶9月23日に端を發したる獨逸鐵鋼労働組合の賃銀増額運動は此月に入りて深刻化し再三の政府調停委員の交渉も其效果見えず遂に工場閉鎖に立到つた一部には遠からず解決すべしと觀測するものもあるも兎も角其成行に就ては一般より注目せられて居る。

The Brussels Iron and Steel Exchange の相場の下如し。(f. o. b. アントワープ)

品 種 月 日	棒 鋼	工 形	大 形 山 形	鋼 板 3/16"	ピ レ ッ ト 4"
9 月 6 日	6-2-0	4-18-0	5-12-2	6-8-6	
同 13 日	6-3-0	8-19-6	5-13-6	6-8-6	
同 20 日	6-5-0	5- 2-0	5-15-0	6-8-0	
同 27 日	6-5-0	5- 2-6	5-15-0	6-8-0	
10 月 4 日	6-5-0	5- 2-6	5-14-6	6-7-6	
同 11 日	6-4-0	5- 2-0	5-13-6	6-7-6	
同 18 日	6-3-0	5- 2-0	5-12-0	6-7-0	
同 25 日	6-2-6	5- 1-6	5-11-6	6-7-0	

西部獨逸に於ける鐵鋼業爭議經過の概要 今回の爭議は9月23日獨逸鐵鋼業労働組合の會合に於て西部獨逸製鐵業者に對し賃銀契約を拒否することを決議せることに端を發したり、其の目的は勿論賃銀の値上げにありて労働組合は當日何等の聲名はなさざりしも1時間7乃至10ペン=ヒ即ち約8乃至10%の増額を要求するならんと想像せられたり。

然るに翌日に至り公表せられたる處によれば一時間0.15マークの増額の要求にて此れによれば、現在の熟練工の1時間の賃銀0.78マークに對しては20%不熟練工の1時間の賃銀0.60マークに對しては25%の増額となる計算にて

斯る隔絶せる状態にては友誼的解決の機會もなくまた政府の仲裁官により再び斯る高き賃銀の決定せらるべきことも望まなく結局は製造家は再び鐵鋼價格の値上げを行ひ、賃銀は僅少の増額をなすことにより承諾せらるゝに至るべしと觀察せられたり。

越えて 10 月 13 日伯林よりの報導によれば、労働組合が豫ての聲明による 1 時間 0.15 マークの増額案の固執により暗雲低迷するに至りたり。即ち此聲明に對しメーカー側は其後營業成績が漸次不振に赴きつゝあるを理由として向一ケ年間は現在の賃銀の儘据置くことを希望し只現在一般の最低率なる 1 時間 67 ペンツヒに達せざる特別の時間労働者に對してのみ最少限度の増額をなすべきこと（熟練工の最低率は 1 時間 78 ペンツヒとす）を回答せり。

〔本年 8 月に於ける獨逸鐵鋼トラストの總ての労働者（熟練、不熟練工共の平均月收 231 マークにして労働時間の制限（1 週 48 時間）に依り高級労働者の収入は前年に比し可なりの減收率を現はしたり〕

労働組合はメーカーの此申出でに對し慎重なる考慮を拂ふことなく不相變 1 時間 0.15 マークの増額案を強硬に支持せり。

メーカー側も亦前記の賃銀協定の覺書に關連して 11 月 1 日に於て再び覺書を發表すべきを聲明せり。

其後 10 月 23 日の紙上によれば此爭議の爲め獨逸政府より任命せられたる調停委員會の第一回會合に於て労働組合は先づ此商議に先立ち西北部獨逸鐵鋼生産者組合は 11 月 1 日に労働者に與ふべき聲名書を撤回すべき事を要求せるもメーカー側は直に之を拒否したる爲、委員會は何等得る處なく解散し 25 日の第 2 回會議に於て次の決議をなしたり。

- 1、最低賃銀は變更せず。但し手當として 21 歳以上の職工に對しては 1 時間 6 ペンツヒ、其以下の若年者には相當の割引をなしたる額を支給すること。
- 2、賃請及び歩合職工には 1 時間 2 ペンツヒの手當をなすこと。

前 2 項の決議は 1930 年 4 月 30 日迄變更することを得ず。然して異議變更等に關する豫告は 2 ヶ月以前に於てなすべし。

兩者の承認は 10 月 29 日とす。

之に對し労働組合は 21 歳以上の職工に對して一様に 10 ペンツヒの増額を要求したるも 29 日に至り此決議を承認したり。他方工場主側の聯合會にては市場の衰退と生産費高を理由とし賃銀の増加は何如に小額と雖も之れを承諾すべき餘地なく、また此賃銀の増額に關連して國內の鐵價も到低値上げし得ざることを聲明せり。

斯る状態に立至りたるを以て 10 月 30 日午後爭議調定に關し労働省に於て 5 時間に互り商議せられたるも復々何等得る處なかりき。

工場主側は政府が強制的の仲裁決定を與ふるに於ては工場を閉鎖すべく手配中との事なるも、元來政府の調停規則によれば調停判決の確定により、判決文通りの新契約が兩者間に締結せられた事となるを以て、若し何れか一方が此契約に違反せば賃銀其他一切のものゝ將來の總ての損害を違反者が負擔せざるべからず。

然るに 11 月 1 日の報導によれば 10 月 31 日に於て政府は此調停判決文に對し強制力を附與したるに關はず、工場主聯盟は豫定の通り工場閉鎖の意志を續さず 11 月 1 日より決行することゝなり之に關する總ての手配をなしたり。

前記の経過は本日迄に入手したる報導を綜合したるものにして新聞紙上及某所の入電によれば其後ロックアウトは決行せられ爲に 20 萬の失業者を出し、猶之が導火線となつて西北部製鐵業團に屬しないハーゲン地方にも賃銀問題より工場閉鎖の決行を見て 4 萬人の失業者をさへ出したと云はれて居る。

シーヤリング工場の現状

一、大型平鋼工場を持たない我國で特殊の發達をして居るシーヤリング工場の現状は概略次の通りである。

一、シーヤリング材の向先は主として建築及橋梁なので、シーヤリング工場の出現は殆んど最近に屬し大正9年頃からの様である。シーヤリング材消費の比率は東京では大體建築6に對し橋梁4であるが大抵では消費地域が朝鮮、滿洲臺灣迄及ぶ關係上橋梁材の消費力強く5:5位の割合であると云はれて居る。

一、使用鋼材は主として耳附鋼板で其他不定尺、短尺、鋼板屑とあらゆるものを使用して居るが、需要方面が益々大なるものを要求する關係上旬報第74號「耳附鋼板の需要傾向」にも書いた通り製板技術の進歩により製品の公差が減少するに隨つて逐次長尺物に移る傾向にあるのは當然の歸結と云ふことが出来よう。

一、歩留りは技術の巧拙、材料及製品の種類により差異あるも大體に於て耳附鋼板は80%、其他のものにて85%—88%位と云はれて居るが、若し此程度とすれば未だ充分改善の餘地があると思はれる。

一、製品屑の處理も工場經營上見逃がすことの出来ぬ重要なもので通常表記の6種に分たれて居る(%は屑の概略比率)

工場名	月産概數(噸)	
大阪シーヤリング工場	2,000	} 大阪
シーヤリング工場	600	
泉吉シーヤリング工場	500	
奥小路シーヤリング工場	500	
湊シーヤリング工場	400	
阪口シーヤリング工場	300	
井上シーヤリング工場	200	} 東京
小なるシーヤリング工場(約10)	1,000	
計	5,500	
東京シーヤリング工場	1,700	
シーヤリング工場	1,300	
青柳シーヤリング工場	500	
小なるシーヤリング工場(約10)	1,500	} 東京
計	5,000	

1、小片(極小のものにてスクラップとす)	} 30%
2、拔地用(一邊6'位のもの)	
3、舟釘用(極細長なるもの)	} 40%
4、支那行(細長にて幅1'-2'のもの)	
5、小シーヤ行(幅4'-6'のもの)	
6、伸鐵用(幅3'内外のもの)	} 30%

一、大型のユニバーサル平鋼が完全に製作せらるゝに至ればシーヤリング工場としての活動餘地は自然極限せらるゝ性質のものと思はれるゝも我國の現状としては未だシーヤリング工場に俟つもの甚だ多く特に復興途上にある東京方面の需要は漸増の形勢にあると云はれ、民間にて大型平鋼工場の建設の意向さえあると云はれて居る程である。

軌輕條値下げ

12日、市價の下押しを參酌の上一般賣價格を前回より1圓下げの下記の通りに決定し即日發表した。

一、15哩以上注文の場合 レール丈 1 噸に付金 96 圓替 一、5 哩以上注文の場合 レール丈 噸に付金 98 圓替
 一、5 哩未満注文の場合 レール丈 1 噸に付金 100 圓替 但し附屬品は現在制定してある個々の値段に據ること。

11 月中旬神戸、横濱兩港細丸、線材の輸入

寸法 港	細 丸					計
	1/4	5/16	3/8	1/2	5/8	
神 戸	30	21	319	73	161	604
横 濱	15	52	576	—	—	616
計	45	36	895	73	161	1,220
上中旬計	112	88	1,336	233	311	2,080

寸法 港	線 材			計	上中旬計
	B.W.G No5	其 他	計		
神 戸	3,821	502	4,323	8,958	
横 濱	1,254	108	1,362		
計	5,075	610	5,685	1,2506	

備考 横濱は自 11 月 7 日至 14 日とし、神戸は自 11 月 9 日至 18 日とす。

細丸。逐次に増加の傾向にあつて 3/8" も先月合計が 1,732 吨、今月に入つて 1,336 吨云ふ数字を示すに至つた、下旬より 12 月に掛けては相當の輸入は豫期せずなるまい。

線材。神戸の輸入は不相變衰へず日に 9,000 吨近くの數へ横濱も 1 ヶ月の需要以上の輸入を見た爲市場も不味である。

東西市況一氣迷ひ 西部獨逸工場の閉鎖も斷行せられたが、只細丸の積後れを豫期して來春の入荷遅延の爲好感を興へたに過ぎず直接には殆んど影響なくまた先旬は御大典氣分に加へて休日多かりし爲荷動きも捗々しからず、旁々 12 月もそろそろなので金融關係も勘定に入れて居るので、地場はどうやら底入れ氣配も見えろとは云ふものゝ、何となく薄氷を踏む心持ちで氣迷ひ状態と云はれて居る。

東京市況 丸鋼。細丸の反落振り益々鮮かに 9^m/_m、12^mも遂に 12 圓臺を割り、未だ底入れの模様も見へずベース物は煽りを受けて小弛みなるも底意硬く、65 は品不足の爲め復も上放れた。

外國爲替市中相場

區分	月日	Nov 12	13	15	17	19	20
日	英	1/11-1/32	1/10-16/111	"	1/10-31/32	1/11	"
日	米	46-9/16	46-3/8	"	46-7/16	46-1/2	"
日	佛	11.75	"	"	"	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場

丸	鋼		等邊山形鋼		工形鋼				
	東京	大阪	m/m	m/m	東京	大阪			
6 ^m / _m	12.50	11.80	9 × 75 × 75	9.60	9.20	0.36" × 5" × 10"	9.73	9.30	
9	11.70	11.00	9 × 130 × 130	9.70	9.30	鋼板			
12	"	11.80	12 × 130 × 130	"	"	1.6 ^m / _m × 3' × 6'	12.90	11.80	
19	10.30	10.20	15 × 150 × 150	"	"	1.6 × 4 × 8	"	11.70	
25	10.40	"	不等邊山形鋼			3.2 × 4 × 8	11.20	10.90	
50	10.30	9.70	3/8" × 2" × 3"	10.00	9.30	3.2 × 5 × 10	"	11.00	
65	12.00	11.00	3/8 × 3 × 4	"	9.70	6.0 × 4 × 8	10.53	10.60	
角			3/8 × 3 1/2 × 5	10.40	10.20	6.0 × 5 × 10	"	10.70	
9 ^m / _m	12.40	11.60	3/8 × 4 × 6	9.73	9.40	9.0 × 4 × 8	"	10.60	
12	10.00	9.80	1/2 × 4 × 6	10.27	10.20	9.0 × 5 × 10	"	"	
15	9.87	10.00	溝形鋼			薄鋼板(13枚)			
19	"	9.60	1/4" × 2" × 4"	9.47	9.30	米	72	710	
38	10.30	9.70	0.312 × 2 1/2 × 5	10.53	10.10	英	71	695	
平鋼			3/8 × 3 × 6	10.00	9.70	八幡	71	"	
1/4" × 1 1/2"	12.30	11.00	3/8 × 3 × 8	10.13	"	鐵力板			
1/3 × 2	11.20	10.90	3/8 × 3 1/2 × 10	10.00	9.40	米	170 ^{lbs}	22.00	20.50
1/4 × 3	10.67	9.80	3/8 × 3 1/2 × 12	10.53	11.30	100	12.30	11.60	
3/8 × 4	10.50	9.70	工形鋼			170	21.50	19.70	
1/2 × 4	10.40	"	1/4" × 3" × 6"	10.40	10.00	100	11.50	10.80	
等邊山形鋼			3/8 × 6 × 12	11.00	9.90	170	21.50	21.00	
m/m, m/m, m/m			6 × 50 × 50	9.60	9.30	100	11.50	11.60	
6 × 65 × 65	"	9.20	0.35 × 5 × 12	11.47	12.00	英	170	21.50	21.00
						八幡	100	11.50	11.60
						線材			
						No. 5 #	100.00	94.00	

備考。單位百斤につき(置場換價段)。但し薄板は一枚當り。線材は一趙當り。鐵力板は一箱當り。

角、平鋼。角は平凡なるも9^m/m、38^m/mは小廻り、平は大體保合なるも大阪安に押され目先は弱しと見られて居る。型鋼。等山の軟弱は不變、不等山は輸入もなく稍品薄を告げて底意強く、工型は軌條工場物の値段頑強にして其他も保合、溝形は品薄物弗と現はれた爲に強合の状態と見られて居る。

鋼板。軟調のまゝ推移して居る。
 黒薄鋼板。輸入の激増は益々鈍調を助長し復々下押しを見せた、

大阪市況 丸鋼。12^m/m 極度の品拂底に高値を持續し落潮滔々たる中に一異彩を放つ、其他は見る影もなく、ベース物は100圓の關門の維持困難なるが如し、然し今回の下放れは荷問へ等の原因でなく、相當永續せる高値の純然たる反動安の現象なれば却つて前途に幾分の光明を齎らす前提とも見られて居る角、平も細丸に押されて不味型鋼等山は完全に95圓を割り90圓臺割れさへ云々せられて居る然も丸鋼に比し在庫豊富なれば目先恢復の期待薄しと見られて工、溝も需要不振を訴へて依然軟弱鋼板もテリ安商況に轉た秋寒を覺ゆ殊に黒薄鋼角は近來になき安値にて浪板原板など噸182圓の賣物さえ現はれ目先の入荷も豫期されて氣配悪しと云はれて居る。

昭和三年十月中神戸、大阪、横濱、三港輸入鋼材寸法別總計表

單位、噸、題以下四捨五入

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數		
丸	鋼	2 3/8	10	1	10	3	38	6x8	3	計	1,399	B.W.G.No. 11	30 lb	4	六角鋼	8	7				
3/16"	409	2 1/4	4	1 1/4	9	3 1/2	10	6x3 1/2	15			12	6	計	26,684	25	八角鋼	3	7 1/2		
1/2	198	2 1/8	3	1 1/4	12	3 3/8	48	6x4	20	波 形 鋼		1 1/2	1		771	8			104		
3/8	71	2 3/8	3	1 1/2	12	3 3/4	1	11x3 1/2	13	3 1/2	50	13	5	電 氣 鐵 板	18	3	外 輪	294	3 1/2		
7/16	31	3	16	1 3/4	5	5	5	65x130	2	4x2	50	13 1/2	1	0.014"	242	16	18	車 軸	66	8 1/2	
1/2	484	3 1/4	7	2	5	6	71	計	184	6x1 1/2	200	14	13	0.017	200	12	19		10	393	
3/4	724	4	1	3	16	計	1,490			8x1.92	80	15	73	0.35"/m	80	重 載 不 明					
2 1/4	634	4 1/2	60	3 1/2	7	等 邊 山 形 鋼	6"x3"	球 山 形 鋼	3	10x4	96	16	1	0.50	120	計	73	計	5,429	12	25
7/8	279	4 3/4	10	4	47	3 1/2	46	6 1/2 x 3	8	12 x 3	66	18	20	0.8124	2						449
1 1/2	1	5	49	4 1/2	5	1	166	8 x 3	4	15 x 3 1/2	231	20	24	1.066	5	B.W.G. 線 材	鋼	管	5,492	25	
1 3/4	302	5 1/4	10	5	10	1 1/4	254	8 1/2 x 3	7	14 x 90	7	21	2	Use G27	102	6	963	1 1/8"	13		
2	1 1/2	5 1/2	18	6	10	1 1/2	588	9 x 3	4	計	846	22	2	計	753	4	14,868	1 1/4"	43		
2 1/4	3	6	10	5 1/2	5	1 3/4	109	10 x 1 1/2	5	1.24"/m	101	101	2		3	203	1 1/2"	443	合 計	78,142	
2 1/2	25	6 1/4	10	6	28	2	296	計	31	D 形 鋼	2.0	51	5	鋼 板	3	153	3 1/8"	739			
3	15	7	3	7.5	5	2 1/2	266	計	31	3 1/2 x 3 1/2	31	5.5	50	3/16"	232	2	55	3 1/2"	1,230		
3 1/2	22	7 1/8	24	8.5	2	3	313	工 形 鋼	3 1/2 x 2 1/2	6	計	4,160	1 1/4	157	1	99	3 3/4"	424	鋼 片	鋼 塊	7,749
4	17	7 3/8	26	90.	5	3 1/2	141	3 1/2 x 3 1/2	25	6 x 4 1/2	71	鋼 板	104	82	0	33	1 1/2"	343			31
4 1/2	71	7.5	74	計	493	4	66	5 x 3	52	6 x 4	11	鋼 板	104	100	153	1 1/4"	4	アルミ	1,793		
5	10	8.5	12	平	鋼	26"/m	10	6 x 3	90	計	119	(厚0.7"/m以下)	計	575	5.0"/m	607	2	432	ピレット	275	
5 1/2	48	9	801			32	5	6 x 4 1/2	59					5.5	658	2 1/2	64	フック	9,858		
6	11 1/2	9	計	5,558	7 1/8"	114	38	7 x 4	25	7 x 4	51	鋼 板	7	6.5	10	2 1/2"	47	其 他	10		
6 1/2	17	10	計	114	7 1/2"	163	50	8 x 4	112	(厚0.7"/m題)	8	8	46	30 LBS	186	3	175	計			
7	89	11 1/2	52	3 1/2"	159	計	2,295	8 x 6	51	1 1/2	23	9	541	25	639	5 1/8" dia	685	3	175		
7 1/2	8	1 1/4	78	7 1/8"	67			10 x 5	155	3/16"	1,738	10	1,887	20	161	重 載 不 明					
8	16	3 1/8	46	1	138	不 等 邊 山 形 鋼	10 x 6	21	1 1/8	1,009	12	10	16	331	特 殊 鋼	4	113				
8 1/2	2 1/2	3 3/8	68	1 1/4	209	2 1/2 x 2 1/2	20	12 x 5	61	3/16	207	13	15,205	12	424	丸 鋼	181	4 1/2"	7		
9	31	7 1/8	20	1 1/2	114	4 x 2	2	12 x 6	271	1 1/4	55	24	10	Elevator用							
9 1/2	3	3 1/2	14	1 3/4	82	4 x 3	66	16 x 5 1/2	27	3/8	25	26	422	重 載 不 明	625	平 鋼 板	79	5 1/2"	4		
10	6	5 1/8	8	2	82	5 x 8	68	15 x 6	128	3/8	126	28	208	計	2,464	鋼 板	8	5 1/8"	4		
10 1/2	4	3 3/4	8	2 1/4	1	5 x 3 1/2	4	18 x 6	100	4"	86	29	225	繼 目 板		共 他	12	6	113		
11	73	7 1/8	5	2 1/2	44	5 1/2 x 3	3	20 x 6 1/4	195	5"	37	30	7,546		計	329	6 1/2"	2			

製鐵所販賣旬報 第 77 號 昭和 3 年 12 月 1 日

獨逸鐵鋼業爭議其後の經過 其後入手したる爭議に關する報道を綜合したる經過次の如し。

豫定の通り 11 月 1 日に於て工場主側はロック、アウトを決行し西北部の大工場は殆んど閉鎖され此處に爭議は愈々本舞臺に入り 10 萬餘の製産職工と 12 萬 5,000 以上の加工職工の失業者を出した。單に之のみに止まらず導いて炭坑に迄惡影響を及ぼすことなきやを憂へられて居る。猶勞動組合は外國より將來西部獨逸へ鑛石の輸送中止の報を入れて硬化し、之が誘因となつて現在、西北部獨逸地方よりも高率の賃金を得て居るハーゲン、シュウェルム地方の勞動組合も亦西北部獨逸職工が要求して居るだけの給料値上げの要求を聲明するに至り、之れに依つて更に 4 萬人の職工が此渦中に投げらるゝことになつた。其結果ジエゲルランドの鐵鑛山にまで影響し鑛山の殆んど全部の作業休止を見る到つた。

1923 年以來如何なる爭議にも金主とならなかつた勞動組合も今回は 1 週間 25 マークの補償金を支拂ふと云ふて居る程力窟を入れて居る。爭議は工場閉鎖に關する法律上の疑義により事態益々紛糾した、即ち前旬報に掲記した通り調停委員の判決により定められたる條件の下に作業繼續を強制すると主張するに關らず生産者組合は其判決が適法

たるや否やに就て疑を有しに已に裁判所に判決を要求したが、此第1回の裁判は11月16日開催することに決定せられた、斯る理由により此争議は何時終息するや殆んど豫想し得られざるも、一般に出来得る限り早く調停の成立を希望しあるは明である、其後工場主側は労働時間の延長によつて妥協點を求めた様であるが労働者側は労働時間の變更に就ては強硬に拒絶した。斯くして双方の意見は少しも接近せず、遂に社會主義者の或者は議會へ次の如き立法を提議すると報ぜられて居る。

「國家はロック、アウトによる失業者に毎日又は毎週補償を支拂ふべし、又同時に政府はロック、アウトに關係を有する雇主より此補償金を徴收することを得」

此提議は勿論雇主側に不利であるが、元來工場主側が調停決定を拒否したことが國家の權力並に調停委員の心性を害したに原因し有力な天主教徒の一部が此提議に共鳴する可能性を有するを以て或は成立を見るやも知れざる情勢にあると云はれて居る。

2 月積先物賣行概況—申込益々減少

一、條 鋼

(1) 賣出噸數 4,000 噸

線材	1, 2 小形	3 小形	1 中形	2 中形	1 大形	2, 3 大形	軌條	計
100	400	400	500	500	600	1,500		4,000

(2) 揚地別申込噸數

	丸	角	平	等邊	不等邊	溝	工	計
東京	2,760	495	2,566	480	522	180	185	7,188
大阪	3,835	355	2,680	565	470	340	612	8,857
名古屋	1,405	67	604	50	0	15	5	2,146
其他	299	49	501	463	0	12	0	1,324
計	8,299	966	6,351	1,558	992	547	802	19,515

(3) 引受噸數 (括弧内は定期)

	線材	1, 2 小形	3 小形	1 中形	2 中形	1 大形	2, 3 大形	軌條	計
丸	100 (206)		383 (2,271)		268 (395)				751 (2,872)
角		30		66 (100)	57				153 (100)
平		333 (1,622)		412 (435)					745 (2,057)
等邊		35 (70)	18 (50)		90 (420)	72	230 (405)		787 (945)
不等邊					85 (190)	238 (410)	215 (336)		538 (936)
溝				5 (70)		198 (403)	105 (219)	(126)	308 (818)
工						86 (105)	237 (410)		323 (515)
計	100 (206)	398 (1,692)	401 (2,321)	483 (605)	500 (1,005)	594 (918)	787 (1,370)	(126)	3,263 (8,243)

二、鋼 板

(1) 賣出噸數

厚板	500	1 中板	500	2 中板	500	計	1,500
----	-----	------	-----	------	-----	---	-------

(2) 揚地別申込噸數

	東京	大阪	名古屋	其他	計
厚板	658	390	85	22	1,155
1 中板	1,813	1,450	55	107	3,425

2 中板	950	975	44	50	2,019
計	3,421	2,815	184	179	6,599

(3) 引受噸數 (括弧内は定期)

厚板	500	1 中板	500 (482)	2 中板	500 (715)	計	1,500 (1,197)
----	-----	------	--------------	------	--------------	---	------------------

三、鉄力板

(1) 賣出、申込噸數

	賣出	申込
市場向	800	951
實需向	400	400
計	1,200	1,351

(2) 引受噸數

	170 封度	100 封度	オイルサイズ	計
市場向	396	265	139	800
實需向	100	100	200	400
計	496	365	339	1,200

四、線材 (括弧内は定期)

(1) 賣出、申込、引受噸數

	賣出	申込	引受
線材	800 (620)	2,438 (620)	800 (620)
製釘材	3,000	3,000	3,000
計	3,800 (620)	5,438 (620)	3,800 (620)

賣出噸數に於て條鋼は 2 ヶ月分割の爲 1 月渡と殆んど變りなく只第 3 小形にて 200 噸の減少ありたるのみ、鋼板は受渡の順調を期する爲厚板にて 500 噸 2 中板にて 700 噸、計 1,200 噸の減少を見た鉄力は不變、線材は 200 噸の減少である。

申込數量は市場の頽勢を反映して復々激減の跡著しく特に條鋼は約 12,500 噸の減少と云ふ稀有の數字を現はした其他鋼板にて約 7,400 噸、鉄力板にて約 130 噸、と云ふ減少振りである。只線材のみは約 600 噸の増加を見た。

各品種別に就て見れば *

條鋼。さしも榮華を極めた細丸も日に増し凋落の色濃く、之れが總ての落潮の基調となり市場衰退を馴致し、隨つて申込も例外的に角が僅少の増加を示した外、丸の 10,000 噸を筆頭に陣を列べて減少した。先月一寸色氣を見せた平さへも一擧 1,400 噸の減少である。申込が 1,000 噸以上は只丸、平、等山の 3 種と云ふ慘憺たる有様である地方別に就て見れば東京の 7,600 噸が特に目立つが之は細丸の需要地である爲丸の激減が原因して居ると見られる。

鋼板。總てに互つて不味な市場故申込も各工場、各地共減少した。特に一中板は 1 月以後の外注入荷の豫想も手傳つて激減を見た模様である。

鉄力板。市況は香ばしい事はないが、當所品の如きは數量も些なく需要も變らぬ故申込にも大なる變化は見られぬ。

線材。今でこそ大部落潮にはあるけれども、將來の輸入の數量が尠ないと睨んだ爲か他の鋼材に逆行して申込の増加を來たした様である。

11 月現物間——不相變不振 11 月に於ける現物賣出は恒例の 26 日當所販賣部に於て開かる成績次の通り。

	丸	角	平	山	工	溝	計
賣出	233	111	72	487	51	24	978
賣約	52	—	—	75	6	—	139

あれ程殷盛を極めた現物週間は本月も前月同様甚だしき不振にて丸の 9^m/m 等邊の小形物、不等邊の 3×5 物などが僅かに出た許りで地物の衰退を物語つて居る。

11 月下旬神戸、横濱兩港細丸、線材の輸入

細丸							線材				
港\寸法	1/4"	5/16	3/8	1/2	5/8	計	港\寸法	B.W.G No. 5	其他	計	11 月合計
神戸	34	4	4	48	145	235	神戸	4,438	391	4,829	13,787
横濱	173	45	757	231	213	1,419	横濱	2,138	20	2,158	5,706
計	207	49	761	279	358	1,654	計	6,576	411	6,987	19,493
11 月計	319	137	2,097	512	669	3,734					

細丸。今旬は神戸の入荷が極端に少ないが目立つて居る。市場で豫期する數量の入荷は未だ見られず其が爲反つて前途に危惧の念を増させる原因を作るとも見られるが然し獨逸争議の影響により積出遅れを生じ入荷が平均すれば寧ろよい結果を齎すてはあらか。

線材。東西共前月と同様遅剩であるが先行の荷不足を豫想して地物は比較的賤りと云はれて居る。

東西市況——稍落ち着き 海外の情勢及爲替共皆強氣の材料を羅列して居る觀がある。然るに内地の市況は將來の入荷豫想や一實は比較的判明して居るのは細丸だけなのだが一暮近い爲の金融關係や、不需要期に直面して居ることや、又近因としては休日の連續した事に依つて、好材料を一蹴して下押し氣配を續けて來たが、總體的に云ふと追々と採算點に近づきつゝある爲特別のものを除けば、どうやら小康を得た模様で此邊で一服するではあるまいかと見られて居る。然し何時も波瀾の多い12月に一步を入れたことゝ前途の樂觀は許されないと云はれて居る。東西を比較すれば大阪は何時も敏感に動く爲め兎角強弱共に先走りたがる傾向がある。それ故斯る際には支へる力なく思ひ切

外國爲替市中相場

區分	月日	Nov. 21	22	23	24	26	28	29	30
日	英	1/11-0	1/10-7/8	1/10-13/16	"	1/10-27/32	1/10-3/4	1/10-11/16	
日	米	46-1/2	46-1/4	46-1/8	"	46-3/16	46-0	45-7/8	
日	佛	11.75	"	11.70	"	"	11.65	11.60	

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場

丸	鋼		等邊山形鋼		I形鋼			
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪		
6 ^m /m	11.70	11.50	9 × 75 × 75	9.35	0.36" × 5" × 10"	9.60	9.10	
9	11.20	10.70	9 × 130 × 130	9.50	鋼板			
12	11.50	12.00	12 × 130 × 130	"	1.6 ^m /m × 3' × 6'	12.50	11.50	
19	10.30	10.00	15 × 150 × 150	"	1.6 × 4 × 8	12.40	11.40	
25	10.40	"	不等邊山形鋼		3.2 × 4 × 8	11.10	10.70	
50	10.30	9.70	3/8" × 2" × 3"	10.00	3.2 × 5 × 10	"	10.80	
65	11.60	11.00	3/8 × 3 × 4	"	6.0 × 4 × 8	10.50	10.55	
角	鋼		3/8 × 3 1/2 × 5	10.20	6.0 × 5 × 10	"	10.70	
9 ^m /m	12.40	11.30	3/8 × 4 × 6	9.75	9.0 × 4 × 8	"	10.60	
12	10.00	9.75	1/2 × 4 × 6	10.30	9.0 × 5 × 10	"	10.65	
15	9.70	10.10	溝形鋼		薄鋼板(13枚)			
19	9.60	9.55	1/4" × 2" × 4"	9.50	米	72	71	
38	10.15	9.60	0.312 × 2 1/2 × 5	10.50	英	71	70	
平	鋼		3/8 × 3 × 6	10.00	八幡	705	695	
1/4" × 1 1/2"	12.30	11.20	3/8 × 3 × 8	"	鋼力板			
1/4 × 2	11.00	10.90	3/8 × 3 1/2 × 10	10.10	米	170 ^{lbs}	22.00	20.50
1/4 × 3	10.50	9.60	3/8 × 3 1/2 × 12	10.80	100	12.30	11.80	
3/8 × 4	10.20	9.70	I形鋼		170	21.00	19.80	
1/2 × 4	"	"	1/4" × 3" × 6"	10.40	100	11.50	11.50	
等邊山形鋼			3/8 × 6 × 12	10.50	170	21.50	20.30	
m/m m/m m/m	9.40	9.10	0.28 × 4 × 8	10.10	100	11.50	11.60	
6 × 50 × 50	9.40	9.10	0.35 × 5 × 12	11.50	線材			
6 × 65 × 65	9.35	9.00			No. 5 #	100.00	97.00	

備考、單位百斤につき(置場波値段)。但し薄板は一枚當り。線材は一連當り。鋼力板は一箱當り。

昭和3年7月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	國 別	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	蘭	印	其他	計	本年度 累 計
○鉄	鐵	732							6,057	9,459	33,239	4,915	54,402	408,958
○フェロ、マンガン		57											57	1,258
○フェロシリコン及シリコスピー ゲルアイゼン												25	25	1,050
○其他の不可鍛性鐵合金				32				10					42	251
○シート、バー(ティンパーを含む)			588	2,219	1,689		52					177	4,725	48,461
○インゴット、ブルーム、ビレット 及スラップ				545	315								860	9,738
○ケッグスチール及バンブースチ ール		1						5					6	532
○其他の塊及錠鐵 條及(丸、角、及平、形にして徑邊又 竿鐵(は幅15 ^m /mを超えざるもの)		66	173	280	254	27	102	2		160			1	1,065
〃(丸、角、平のもの其他)		594	187	2,063	155	161		84	33	10			40	3,327
〃(ター形及アングル形)		765	21	377	110				3	9				1,285
〃(其 他)		44	22	1,333	303		20		28					1,750
レ			803	2,359	40		209		597				11	4,019
フィッシュ、プレート			18	68			78		162				3	329
ワイヤー、(巻きたるものにして徑 5 ^m /mを超えざるもの)			204	1										205
〃(巻きたるもの其他)		321	859	6,246	841	144	1,501	69	3,944				780	14,708
鐵(金屬を鍍せざるものにして厚 板(0.7 ^m /mを超えざる珪素鋼板)		183		269			77	5	427					961
〃(金屬を鍍せざるものにして厚 0.7 ^m /mを超えざるもの其他)		12,715		1,968	50				6,183					20,916
〃(金屬を鍍せざるものにして厚 3 ^m /mを超えざるもの)		264		248	491	1		15	439					1,458
〃(金屬を鍍せざる其他)		2,876		702	230			1	33					3,842
〃(錫鍍したるもの)(葉鐵及葉鋼)		2,538		13					3,326					5,877
〃(亜鉛鍍したるもの)		3							117				19	139
〃(其他卑金屬を鍍したるもの)														7
鐵 線		186		281		11		19	349					846
リ ード、ワイヤー		5	2											7
鐵 リ ボ ン		175	5	170				15	70					435
帶 (箍 鐵)		26	56	1,692	38				162				6	1,980
パ ラ ゴ ン、ワイヤー								3						3
線 索		19							11					30
撻 合 線														3
バーブド、ツイスト、ワイヤー									3					3
鐵 筒 及 管		308	137	1,306					2,298				2	4,051
○屑 及 故 鐵		444			604				8,071	815	10,232	6,327	26,493	253,589
特 殊 鋼 (稅表の一)		35		17				12	12					160
(稅表の二)		35		13		44		20		14			26	76
鐵道車輛用車輪及車軸		43				8								1,122
鐵道車輛用タイヤ				62					137				2	182
鐵道車輛用スプリング													62	618
合 計 (○印を除く)		21,201	2,487	19,468	2,515	396	1,987	245	18,334	193		891	67,717	579,669

つて下放れる爲常に東京の下鞆に甘んじなければならぬ。市中相場表を見れば分る通り全般に大阪が下値を現はしながら丸の 12^m/m の如く品薄で先行よしと見れば一躍東京を抜く有様である。各利害得失はあらうが、出来たら加へて2で割りたいものである。

東京市況 丸鋼。細丸は未だ利喰の餘地が充分存して居る故、今の内に賣り抜かふと焦せる爲品薄ではありながら軟勢止まず、只 1/2 は品拂底の處へ當所の第3小形の1週間の運轉中止の報を入れて睨りと云はれて居る。中丸以上は底入れ模様と云ふよりは寧ろ先高を見越して居る筋が多い様である。

角、平鋼。角は不變、荷動きも鈍い様である。平の好調も一服の姿となつた。然し 1/4 × 1, 1/4 × 1 1/4, 3/8 × 1, 3/8 × 1 1/4, 3/8 × 1 1/2 は品薄で4圓50錢を呼んで小堅い。

型鋼。等山は荷凭れに全く腐れ切り、日増しに下押しを見せ、何時底を入れるか見當も附かず、只々荷捌きに没頭する有様と見られて居る。不等山は 3/8" × 3' × 4' が民間物出廻つた爲氣配の軟弱を馴致したが其他は保溝は需要の不振から稍小弛み、工形はジツクリと云はれて居る。

鋼板。不相變商況下、1.6 は輸入が相當あつた下押氣味で其他も底意弱く只 4.5 × 5 × 10 が手持薄で 4.40 を稱へられて居る。

大阪市況 丸鋼は一氣に滲落して下這い過ぎた感があつた爲稍落付きの小康状態にて 12^m/m 物は依然品薄状態緩和されず爲に反騰氣勢を見せたのが光つて居る。角は一向好刺戟なく不況、平は大體に於て保合、1/4 × 1 1/2 1/4 × 2 品拂底を訴へ活躍を續けて居る。角は等山は在荷激増する一方にて一段と下放れを見せ、9圓臺割れを見せたものさへあると云はれて居る。其他の型物も之が餘波を受け一入軟弱を告ぐ。鋼板 1/16 は輸入過多にて復々下放れを演じた。線材は不相變入荷は多きも先行の入荷些きを氣構へて底入れ模様此邊にて當分落ち付く様見られて居る。

鐵製所販賣旬報 第78號 昭和3年12月11日

3月渡先物協議會 昭和4年3月渡先物協議會を12月3日製鐵所東京出張所會議室に開く。恒例の買手側提出外注値段及希望値段は下の通りである。(爲替 16-17)

種類	沖著値段	河岸著値段	希望	本所決定値段	備考
棒鋼	7-14-0	100-81	100	101	2圓上げ
小中型山形	7-6-0	96-67	95	96	据置
大形山形	7-4-0	95-64	94	95	据置
工溝形	6-16-0	91-51	91	92	1圓上げ
溝形	7-7-0	97-19	97	97	据置
鋼板 4-5 mm	7-18-9	103-26	102	103	1圓上げ
3-2 mm	8-5-3	106-61	105	106	1圓上げ
2-3 mm	8-7-3	112-65	113	113	据置
1-6 mm	8-9-3	113-68	114	115	据置
線材	7-16-6	98-31	97	98	2圓上げ
鋳力板 100 lb	0-19-10	11-17	11-20	11-20	10錢上げ
170 lb	1-16-5	20-43	20-40	20-40	20錢上げ

金解禁見込薄を主因とする對外爲替の軟弱は前月協議會當時に比して9ポイント方下落して1志10片8分の7を示し、他面本國相場に於ては獨逸製鐵工場の閉鎖によつて先月に比し1志内外の強調を示し、何れも輸入採算を高からしめた。其結果外注値段に準じて下記の如き先物値段の決定を見、棒鋼は前月に比して2圓高となつた山形のみは内地市況悪化の折柄買手の要望を容れて特に外注値段よりは下目に据置と定めた。尙懇話會希望は棒鋼101圓、中小形山形98圓、線材98圓であつた。

猶丸鋼エキストラは内外の軟調により今月再び次の通り改正した。

丸鋼 6mm	8 圓
8 mm	6 圓
9, 11 mm	5 圓
12 mm	3 圓

11 月中輸入概観——薄板激減 11 月中に於ける 3 港主要鋼材の輸入數量を掲記すれば次の通りである。

品名	神 戸	大 阪	横 濱	計	前 月 計
丸	1,413	1,281	3,939	6,633	5,664
角	131	44	148	323	496
平	566	314	1,154	2,034	1,490
等 山	164	931	668	1,763	2,295
不 等 山	—	229	69	298	185
溝	—	213	102	315	846
工	227	1,400	306	1,933	1,398
鋼板 (0.7 mm 超)	1,471	816	1,982	4,269	4,160
鋼板 (0.7 mm 以下)	3,891	5,641	6,922	16,454	26,689
鋳 力	2,133	51	4,148	6,332	5,429
軌 條	150	502	1,570	2,222	2,464
線 材	12,966	99	4,086	17,151	18,526
計	23,112	11,521	25,094	59,727	69,642

總數量に於て 10 月に比し約 10,000 噸の減少を示したが、其主要なるものは 0.7 mm 以下の鋼板で、其他は一張一弛大した變化を見ない。只流石に丸鋼は約 1,000 噸の増加である、0.7mm 以下、鋼板の此激減に就ては主要なる原因と見做すべきもの、発見は困難であるが、(1) 薄板の注文は通常大口なるが其が不需要期に向つて一齊に手控えたること、(2) 支那南洋方面の輸出が利き初めたる爲保税に廻りたるものを生じたること、などを數へて居る様である。

港別に就て見れば神戸が薄板で約 10,000 噸の減少の外、各港共前月と大同小異である。

黑板入札——遂に 70 錢を割る

開札日	第 1 薄板		第 2 薄板	
	最高	最低	最低	最低
10 月 8 日	180.16	180.16	180.25	180.16
前 回	182.60	182.27	182.505	181.60

不需要期に向つた上、市場には軟化の原因錯綜して如何ともする能はず、當所品の入札も見る通りの結果となつた。即ち 69 錢 3 厘と云ふ甚だしい下放れ振りである。

12 月上旬神戸、横濱兩港細丸、線材の輸入

港/寸法	細 丸					計	線 材			計
	1"	1 1/8"	3/8"	1/2"	5/8"		港/寸法	B.W.G. No. 5	其他	
神 戸	1	—	—	148	1	150	神 戸	4,241	306	4,547
横 濱	76	30	244	171	33	554	横 濱	1,038	31	1,069
計	77	30	244	319	34	704	計	5,279	337	5,616

備考。神戸は自 11 月 28 日至 12 月 7 日。横濱は自 11 月 27 日至 12 月 6 日分とす。

細 丸。神戸は 11 月下旬も僅少な入荷であつたが上旬も 3/8 の如き全く輸入の跡を絶ちし有様。横濱とても地場に影響すると想像さるゝ程の數量の入荷は未だ見ざるに、現在の續落振りは何に原因するであらうか。

大阪港を加へた 3 港の 11 月中(自 1 日至 30 日)細丸輸入の精確な數字は次の通りである。

	1/4"	1/8"	3/8"	1/2"	5/8"	計
阪 神	65	76	348	196	552	1,237

横	濱	187	293	1,411	437	470	2,798
計		252	369	1,759	633	1,022	4,035

線材。は上旬は比較的順調な入荷を豫想されて居たのに神戸だけは、またも多量の輸入を見た。然し細丸とは反對に將來の入荷薄を氣構へて小戻の商狀と云はれてゐる。

當所硫酸安母尼亞近況 硫酸自體の大過剩を第1とし、一般農作物市價の不況、新肥料の出現等から昨春來急落を來した内地硫酸市場は、爲替關係或は期節的影響によつて時に局部的の進捗を見せた外全般的の好材料もなく、引續き漸落を重ねて遂に吨當り120圓臺に落ち、前途益々不振を豫想せられて居る。

曩に大增産計畫が誤報せられて斯界注視的となり、未だに一部關係者は多少その眞偽を疑つて居る當所硫酸も大勢に禍せられて絶えず軟弱を續け、増産計畫どころか最近南支のボイコットも手傳つて、荷動き不良を極め、種々の對策から買手引取の感あつた弊風の破られた今日ですら、9月末から各工場の滞貨特に著しく、目下第3工場の如きは豫想外の苦境を嘗めて、増産計畫實現化の誤傳であつた事を裏書して居る。

今最近の當所硫酸に就て數字的に簡單に報じて見よう。

1. 月別生産豫定高及び實生産高

月 別	生産豫定高	實生産高	比 較
3年4月	1,102 吨	1,188 吨	増 86 吨
5	1,139	1,176	" 37
6	1,102	1,126	" 24
7	1,139	1,153	" 14
8	1,139	1,179	" 40
9	1,102	1,145	" 43
10	1,033	1,189	" 156
11	1,058	1,174	" 116
12	1,063		
4年1月	1,063		
2	960		
3	1,063		
計	12,962		

(備考) 上表の増産高は生産豫定に對する自然的増産にて計畫的のものにあらず。

2. 各月契約高

月 別	入札契約高	協定契約高	計
4月渡	1,185 吨	36 吨	1,221 吨
5月	1,216	26	1,242
6月	1,077	9	1,086
7月	1,323	9	1,332
8月	1,215	9	1,224
9月	1,006	80	1,086
10月	887	169	1,056
11月	876	197	1,073
12月	920	183	1,103
4年1月	941	165	1,106
2月	1,210	183	1,393
3月	未定	未定	

(備考) 協定契約は公共團體は之に準ずべきものに限り、その他は入札見積によりて契約す。

東西市況——閑散 先旬の特別の刺戟として數へらるゝものに獨逸爭議の解決、當所品の2圓上げなどがあり、強弱交錯して居るが地場にはさしたる影響もなく、師走とは云へ月初めとしては商内至極閑散にて活氣なく、相場も益槍の域を低徊して居る。大阪は思ひ切つて下放れた爲どうやら底入模様と云はれ、東京は未だナリ安調で先行も稍軟弱を氣構へられて居るが四圍の狀勢から判斷して底を衝くのも或は近いのではあるまいかと觀て居る向もある。

東京市況

丸鋼 12^m/m は變りなきも最早此邊が峠と見え氣配も下押し氣味である。9^m/m は未だ軟勢を續けて居るが、ベース物は落着き模様と云はれて居る、實需筋の見積もベース物は相當あるのに、細丸は手當がしてあるのか、それとも押目待の見送りの爲か免に角今の處は需要薄を傳へられて居る。

角、平鋼 角は殆んど釘付で、平は中旬以來の保合状態の儘推移してゐる。

型钢 11月の休月の後なので、相當の荷動きも期待されたのに、全然豫期に反して少しも需要の喚起を見ず、特に等山の腐れは少しも好轉の機なく販路協定の下相談まで持ち出される程需給の平衡を失して居る模様である。不等山は保合、溝の需要益々減退の傾向にて不振、工形も不變。只軌條物は小締りと見られて居る。

鋼板 鋼板の鈍状も可なり永い間續いた故何か問題でも起りそうに期待して居る向もあるが今の處は未だ何等の曙光も見出せず不相變の軟調を迎つて居る。

黒薄鋼板 雜多の弱氣材料の上に9月、10月の巨多の入荷も祟つて市場は全く頽勢に傾むき、製品が90銭を割る始末に、原板も續落し只臺割れを演ぜぬと云ふ名ばかりを辛くも保つて居る現状で先行も不需求期に向ふこととて、今月の輸入の激減も救ふ餘地はあるまいと觀て居る筋もある。

大阪市況

丸鋼、ベース 10圓ドタに焦いて不動、商況も閑散である。只 12^m/m 依然品薄にて強調である。角、平鋼も餘り變らず、品薄を傳へられた、平の 1, 1¹/₂, 1¹/₂ も當所品の積出案内を見ただけで5錢堀みの下押しを見ると云ふ弱腰の商情を示して居る。型钢等山も腐れ切つた後が稍小戻し模様と云ふものゝ矢張り9圓堀を徘徊して居る。不等山 4×15 丈は氣丈にて 15圓を呼ばれて居る。溝型は不味、工型は不安を感じつゝあるも小戻り、最近型物には實需筋の買出及見積等が弗々注がれて來た故幾分の變化を期待されて居る。鋼板は殆んど不變、依然不冴の商況である。線材は上旬にも相當の入荷を見たい係らず手堅く保合を續けて居る。

外國爲替市中相場

區分	月日	Dec 30	1	3	4	5	6	7	8	10	●
日	英	1/10—23/32	1/10—5/8	1/10—21/32	"	1/10—23/32	"	"	"	"	
日	米	45—15/16	45—13/16	"	"	45—15/16	"	"	"	"	
日	佛	11.60	"	"	"	"	"	"	"	"	

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場

丸鋼	東京		大阪		等邊山形鋼	東京		大阪		工形鋼	東京		大阪		
	12月7日	12月5日	12月7日	12月5日		12月7日	12月5日	12月7日	12月5日		12月7日	12月5日	12月7日	12月5日	
6 ^m /m (1/4")	11.40	11.20	9.80	9.00	9 × 75 × 75	9.20	9.00	0.36" × 5" × 10"	9.60	9.00	1.6 ^m /m × 3' × 6'	12.30	11.50		
9 (3/8)	11.10	10.50	9.50	"	9 × 130 × 130	9.50	"	鋼板			1.6 × 4 × 8	12.30	"		
12 (1/2)	11.70	12.20	"	9.10	12 × 130 × 130	"	9.10	鋼板			1.6 × 4 × 8	11.10	10.70		
19 (3/4)	10.20	10.00	"	9.20	15 × 150 × 150	"	9.20	鋼板			3.2 × 4 × 8	11.10	10.70		
25 1	10.30	"	不等邊山形鋼				3.2 × 5 × 10	"	"			3.2 × 4 × 8	11.10	10.70	
50 (2)	"	9.60	9.00	9.20	3/8" × 2" × 3"	10.00	9.20	鋼板			3.2 × 5 × 10	"	"		
65 (2 1/2)	11.40	10.80	9.50	9.50	3/8" × 3 × 4	9.90	9.50	鋼板			6.0 × 4 × 8	10.50	10.50		
角			9.80	9.80	3/8" × 3 1/2 × 5	10.15	9.80	鋼板			6.0 × 5 × 10	10.60	10.70		
9 ^m /m (3/8")	12.20	11.30	9.75	9.30	3/8" × 4 × 6	9.75	9.30	鋼板			9.0 × 4 × 8	"	10.40		
12 (1/2)	10.00	9.70	10.30	10.10	1/2 × 4 × 6	10.30	10.10	鋼板			9.0 × 5 × 10	"	10.50		
15 (5/8)	9.80	10.10	溝形鋼				1/4" × 2" × 4"	9.45	9.30	薄鋼板(13枚)			米	715	71
19 (3/4)	9.70	9.50	9.60	9.60	0.312 × 2 1/2 × 5	10.40	9.60	英	71	70	八幡	705	695		
38 (1 1/2)	10.00	"	9.90	9.50	3/8 × 3 × 6	9.90	9.50	鋼力板			米	170 ¹¹ / ₁₆	22.00	21.00	
平鋼			"	"	3/8 × 3 × 8	"	"	英	100	12.30	11.70	170	21.00	20.50	
1/4" × 1 1/2"	12.30	10.90	10.00	9.30	3/8 × 3 1/2 × 10	10.00	9.30	英	100	11.50	11.40	100	11.50	11.40	
1/4" × 2	10.90	10.60	10.70	11.50	3/8 × 3 1/2 × 12	10.70	11.50	英	100	11.50	11.40	100	11.50	11.50	
1/4" × 3	10.50	9.60	工形鋼				1/4" × 3" × 6"	10.40	9.60	英	170	21.00	20.50		
3/8 × 4	10.20	"	9.80	9.00	3/8 × 6 × 12	"	"	英	100	11.50	11.40	100	11.50	11.50	
1/2 × 4	"	"	9.80	9.00	0.28 × 4 × 8	9.80	9.00	英	100	11.50	11.50	100	11.50	11.50	
等邊山形鋼			11.50	11.70	6 × 50 × 50	9.30	9.00	英	100	11.50	11.50	100	11.50	11.50	
6 × 50 × 50	9.30	9.00	11.50	11.70	6 × 65 × 65	"	9.00	英	100	11.50	11.50	100	11.50	11.50	
6 × 65 × 65	"	9.00	11.50	11.70	0.35 × 5 × 12	11.50	11.70	英	100	11.50	11.50	100	11.50	11.50	

備考、單位百斤につき(置場渡値段)。但し薄板は一枚當り。線材は一捲當り。鋼力板は一箱當り。

昭和三年十一月分契約高

品 種	官 廳 小 計		民 間 小 計		十 一 月 中 合 計			本 年 度 累 計		
	噸 數	金 額	噸 數	金 額	噸 數	金 額	噸 當	噸 數	金 額	噸 當
大 條	455	57,030	3,955	377,424	4,410	434,454	98.52	73,020	7,122,843	97.69
中 條	848	108,986	2,725	267,632	3,573	376,618	105.41	56,088	5,566,871	99.25
小 條	504	67,772	5,195	524,695	5,699	592,467	103.96	100,631	10,002,954	99.40
鋼 板	3,050	321,950	12,128	1,244,238	14,178	1,566,188	110.47	119,682	13,381,790	111.81
重軌條及附屬品			68	7,311	68	7,311	107.51	169,015	17,143,625	101.43
輕軌條及附屬品	248	26,551	2,914	268,077	3,162	294,628	93.18	17,320	1,667,507	96.28
線 材			4,575	425,145	4,575	425,145	92.93	37,446	3,464,317	92.52
黑板、珪素鋼板、鐵力板			3,058	611,108	3,058	611,108	199.84	32,666	7,028,399	215.16
車軸、外輪、鍛成品	132	29,566	257	56,403	389	85,969	221.00	6,322	1,677,251	265.30
工具鋼、特殊鋼	11	14,252	76	17,531	87	31,783	365.32	864	196,050	226.91
其 他 鋼 材	23	8,677	9	1,705	32	10,382	324.44	7,546	704,958	93.42
鋼 材 小 計	4,271	634,784	34,960	3,801,269	39,231	4,436,053	113.08	620,600	67,956,565	109.50
鋼片、鋼塊、シートバー	77	8,511	9,538	696,631	9,615	705,142	73.34	71,626	5,288,866	73.84
以 上 計	4,348	643,295	44,498	4,497,900	48,846	5,141,195	105.25	692,226	73,245,431	105.81
短 尺 及 屑 鋼	35	2,647	2,818	230,295	2,853	232,942	81.65	67,870	5,235,278	77.14
合 計	4,383	645,942	47,316	4,728,195	51,699	5,374,137	103.55	760,096	78,480,709	103.25
副 製 品		11,178		252,024		263,202			3,800,384	
其 他										

備考 1. 單位, 噸及圓 2. 噸及圓以下四捨五入。

昭和四年二月渡定期及先物契約數量表

單位 噸

寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數
丸 鋼	38 ^m /m	80	計	2,802	5×3 ¹ / ₂	373	工 形 鋼	鋼 板			
6 ^m /m	185	44	86		6×3 ¹ / ₂	12	5 ⁹ ×3 ⁹	30	1.6 ^m /m	583	
8	121	50	32		6×4	551	6×3	80	2.3	214	
9	1,359	65	15		計	1,474	6×5	81	3.2	723	
12	1,295	90	10	等 邊 山 形 鋼			^{m² m² m²} (² 8×4)	160	4.5	367	
50	222	計	253	40 ^m /m	105		9×4	50	6.0	259	
55	105		45	50			10×5	105	8.0	69	
60	18		50	18			14×6	10	9.0	142	
65	162		65	210	溝 形 鋼		16×6	90	12.0	40	
75	141	平 鋼	75	252			18×7	75	計	2,397	
90	15	7 ¹ / ₄ "	113	90	48 ³ / ₄ ×1 ¹ / ₂ (73×49)	75	24×7 ¹ / ₂	157			
計	3,623	7 ¹ / ₈	15	100	72	5×2 ¹ / ₂	339	計	838		
		1	32	130	220	6×2 ¹ / ₂	65				
		1 ¹ / ₄	384	150	395	6×3	147				
		1 ¹ / ₂	366	200	20	7×3	50	條 鋼 計	11,506		
角	鋼	1 ³ / ₄	210	計	1,390	8×3	134				
^m / _m		2	475			9×3 ¹ / ₂	100				
12	5	2 ¹ / ₂	517			10×3 ¹ / ₂	90				
15	5	3	266	不 等 邊 山 形 鋼		12×3 ¹ / ₂	54				
19	5	3 ¹ / ₂	24	3 ¹ / ₂ ×3 ⁹	80	15×4	72				
25	10	3 ⁵ / ₈	15	4×3	195	計	1,126				
32	5	4 1	15	5×3	263						